

初花月ごあい

一字違いで内容が異なる

議会だよりの校正作業の時に思い出すことがある。

余程前のことなのだが、秋田魁新報の投稿欄に、秋田米の宣伝文句の「美人を育てる秋田米」の「美人を」の「を」が「秋田米は美人に生まれついた人を育てる」という意味で「美人でない人」は育てないということになり、この宣伝文句の秋田米は「美人でない人」を差別することになる。

に魅かれ題字に選びました。佐藤肇夫議長と沢田信男議会広報委員長のごあいさつを掲載しました。本年も仙北市議会だよりをよろしくお願いします。

この「美人を育てる秋田米」は「美人に育てる秋田米」の間違いではないかという趣旨だったように記憶している。

広報委員は全員で、各委員が担当しゲラ刷りになった記事を、用語の選択などを協議しながら校正している。「を」と「に」のように一字違いでも内容が大きく異なる事にもなり兼ねない。お気づきの点をご指摘願いたい。



沢田信男 広報委員長

イメージが強い。牛のよだれは、細く長く垂れるように地道に気長にと思っている60歳です。



2009年に翔る 黒沢 美鈴

勤めをしながら、子育て、農業、家事、介護と人並みに走り続け、今年5回目の年女。60歳の太台に乗る。

私にとって60歳とは「若い」を初めて身近に感じさせる響きがある。いくら気持ちちは「20代」と、負け惜しみを言ってはみても...である。

しかしながら、人生はまだまだこれから。ただ老いを重ねるつもりはない。今までの教訓を活かし、前向きに生きていきたいと思う。

2009年、今までもそうして来たように、好奇心のアンテナを張り、年相応のチャレンジ精神を持ち続けながら、自分らしく生きて行きたい。

そして今、これからの人生のスタートラインに立ったのだと考え、目指す道、目指す方向の「始点」を見つける年にしたいと考えている。



後継者が育つ 農業を夢に 高橋 和良

質 どういうキツカケから稲の直播を始めたのですか。

答 直播を始めたのは12、3年前にです。施設ハウスと米の複合経営ですが、種播きや育苗管理が省けるので、その間一ヶ月間、施設ハウスに専念できるという事から始めました。

質 直播の現状と課題については？

答 年ごとの反収にバラつきがあり過ぎ苦労している。直播時期を早めたいが、田圃への入水を早めると周囲の農家へ迷惑がかかるので、この課題が解決できると新たに取

り組む農家も増えて来るのではないかと思っております。転作ハウントも当初の二割から一割に削減され反当収入でも普通栽培においつかないでいる。

質 今年の目標は？

答 施設ハウスも稲作も毎年初心に返った気持ちで取り組んでいる。若者が喜んで継げる農業経営に向けて、今年は年男でもあるので、心新たに挑戦したい。

す。春には二男も高校を卒業し、長男に続いて県外で学生生活を送ることになります。毎日の弁当作り、ユニフォームの洗濯など子育てから解放されます。しかし、不安もあります。しかし、不安もあります。夢に向かって歩む息子達を信じて応援し、見守っていきたいと思います。

また、私の年老いた両親も孫の成長を楽しみながら健康で働いています。介護の話題が多い中、何よりありがたい事だと感謝しています。

感謝の気持ちを忘れずに



古郡 里加

私にとって今年は大きな節目の年になります。実際に堅実に心に余裕を持って、感謝の気持ちを忘れないでいきたいです。

今年もよろしく 議会広報 特別委員会

- 沢田 信男
真崎 寿浩
浦山 敏雄
田口 喜義
浅利 則夫
田口 勝次
青柳 宗
高久 五郎
黒沢 龍己